



プレスリリース

「教員のための博物館の日2023」を開催します

地方独立行政法人大阪市博物館機構では、令和5年8月4日(金)・7日(月)に「教員のための博物館の日2023」を開催します。

「教員のための博物館の日」は、学校での博物館利用を進めるために、まずは教員自らが博物館を楽しみ、博物館の学習資源を知る1日として全国で開かれているイベントです。大阪市では、2012年の大阪市立自然史博物館での開催を皮切りに、毎年夏に開催し、これまで約1,400名以上の教員が参加しました。

学習指導要領では、博物館等施設との連携や協力と積極的な活用が明文化されています。しかし、実際には「どのように博物館を利用したらよいか分からない」と感じている教員がまだまだ多い状況です。当機構の博物館では、授業で利用できる実物資料やWebコンテンツなどさまざまな情報や資料があり、学芸員という専門家が、博物館ならではの特性を生かした利用のご提案をしています。

今回、大阪市立自然史博物館では、博物館が提供するWebコンテンツや貸出資料などを紹介するほか、学芸員と一緒に歩く解説ツアーや体験プログラムなどを実施します。また、大阪歴史博物館では、地域学習や歴史学習の拡充のために同館を活用した事例報告や展示解説など、それぞれ特色ある内容で教員のみなさんをお迎えます。

ぜひこの機会に教員のみなさまにご参加いただき、教育現場における博物館利用の幅を広げていただきたいと思います。

開催概要

1. 名 称 教員のための博物館の日2023
2. 日程・場所 令和5年8月4日(金) 大阪市立自然史博物館
令和5年8月7日(月) 大阪歴史博物館
3. 主 催 地方独立行政法人大阪市博物館機構、上記開催館
4. 共 催 国立科学博物館、公益財団法人日本博物館協会
5. 後 援 文部科学省、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、堺市教育委員会
6. 内容詳細 時間・場所・参加対象・申込方法等の詳細は、次の①～②をご覧ください。

※「教員のための博物館の日2023 in 大阪市立自然史博物館」は、JSPS科研費JP19K01151(研究課題名「新学習指導要領が目指す学びの実現を学校との協働で実践する博物館教育の研究」)を受けて実施します。

①教員のための博物館の日2023 in 大阪市立自然史博物館

- ・日 時 令和5年8月4日(金) 10:00~17:00 (9:30~ 受付開始)
- ・会 場 大阪市立自然史博物館 (大阪市東住吉区長居公園1-23)
最寄駅:Osaka Metro御堂筋線「長居」駅下車3号出口・東へ800m、JR阪和線「長居」駅下車東出口・東へ1000m
- ・参加対象 幼稚園・保育所等幼児教育関係者・小中高等学校等の教員、教職課程を学ぶ学生、
そのほか学校教育関係者
- ・定 員 25名 ※大阪市・大阪府教育センター研修受講者35名も一緒に参加。
- ・参加費 無料
- ・申込方法 学校名等所属・名前を書いてEメール(tm@omnh.jp)で申込み。7月28日(金)締切。先着順で受付。参加の可否は順次メールの返信によりお知らせ。大阪市立自然史博物館ホームページ(<https://www.omnh.jp/>)のイベントページからも申込み可能。
- ・問合先・取材申込先 大阪市立自然史博物館 総務課 大江、学芸課 石井
TEL 06-6697-6221 (開館日の9:00~17:30)、Eメール tm@omnh.jp

・内 容

10:00~10:15 ガイダンス (9:30~ 受付開始)
10:15~16:20 博物館解説ツアー、体験プログラム、講演など ※下記にプログラム詳細
16:20~ 全体会

時間	場所	実施内容	内容詳細
10:15~ 11:00	講堂	①大阪市立自然史博物館の学校向け事業の紹介、 学校で利用できるウェブコンテンツの見方	団体見学の下見説明会、貸出資料、来館時の学芸員による授業、職場体験の受入れなど、大阪市立自然史博物館で行っている学校向け事業の紹介をします。ウェブ上に公開されている、学校で利用できる動画やワークシート等の紹介もします。
	集会室	②大阪市立自然史博物館の貸出資料の紹介	遠足の事前学習に使える紙芝居や教科学習に使える標本など、貸出資料をご紹介しながら、学校での利用方法などのお話もします。
11:10~ 11:55	講堂	①大阪市立自然史博物館の学校向け事業の紹介、 学校で利用できるウェブコンテンツの見方	10:15~11:00と内容は同じです。 部屋を移動して、午前中に①②両方のお話を聞いていただきます。
	集会室	②大阪市立自然史博物館の貸出資料の紹介	
11:55~ 12:55	昼食休憩	※展示見学できます	
13:00~ 13:50	第1展示室 情報センター1階	学芸員と一緒に歩く解説ツアー1 「外来生物問題とは ~地域の自然を残すためにできること~」	外来生物とは、国外から持ち込まれた生物のことだけを指すわけではありません。外来生物とは何か、外来生物の何が問題なのかを紹介し、地域の自然を子どもたちに残すために私たちができることについて、展示を見ながら考えます。
	第2展示室	学芸員と一緒に歩く解説ツアー2 「第2展示室を読み解く」	当館の第2展示室に入ると、恐竜やゾウの骨格標本に目がいきがちですが、展示室全体を見渡すと様々な意図がその中に隠されています。「大阪のいたち」をキーワードに、展示室に隠されたその意図を読み解いてみましょう。
	第3展示室	学芸員と一緒に歩く解説ツアー3 「世界の昆虫の多様性」	世界には様々な昆虫が生息しています。綺麗な昆虫、変わった昆虫、大きな昆虫など、展示を通して紹介していきたいと思えます。世界の昆虫を見渡すと、その多様性には驚かされます。
14:10~ 15:00	講堂	科学館の学芸員による体験プログラム1 「教室で道具を使って楽しむ星と宇宙」	星や宇宙は夜でなくとも、楽しめます。そのさいにお話だけでなく、ちょっとした道具を使うことで、イメージが大きく広がり、またおもしろい天文現象をみんなで楽しむこともできます。今回は、科学館でも実践してきた内容をご紹介します。
	集会室	体験プログラム2 「植物のからだ、野菜のからだ」	葉・茎・根・・・植物の体にも私たちの体のように名前がついています。身近な野菜を使って、植物の体を探ってみましょう。私たちが食べている部分は、一体植物のどこのか？実際に野菜を見ながら考えてみます。
	実習室	体験プログラム3 「哺乳類のホネ」	トラやウマなどの実物のホネを観察し、さわって、並べて、私たちヒトのホネとどこが同じでどこが違うかを考えます。
15:20~ 16:20	講堂	学芸員による講演1 「恐竜展をあなたがくまなくみせてあげて」	特別展「恐竜博2023」をじっくりみましょう。ウロコの残った素晴らしい標本をみていると、化石から生き物らしさを感じられます。じっくりみたら、新しいナゾがわいてくるかもしれません。
		学芸員による講演2 「自然への興味の深め方と博物館」	虫や植物がすごく好きな子がいても、学校でその興味を伸ばすのは必ずしも容易ではないと感じます。演者本人は博物館に頻繁に出入りしていた子供時代を経て、昆虫研究の道にすすみ、学芸員となりました。その道筋と現在自然史博物館で行っている、普及行事、特に中高生対象のジュニア自然史クラブの活動や、より専門性の高い博物館周辺のサークルについて紹介し、子どもたちが(先生も!)自然に対する興味を深めていける道筋と博物館の果たす役割について考えます。

②教員のための博物館の日2023 in 大阪歴史博物館

- ・日 時 令和5年8月7日(月) 13:00~17:00 (12:30~ 受付開始)
- ・会 場 大阪歴史博物館 (大阪市中央区大手前4-1-32)
最寄駅:Osaka Metro谷町線・中央線「谷町四丁目」2号・9号出口、大阪シティバス「馬場町」バス停前
- ・参加対象 小中高等学校の教員、そのほか学校教育関係者
- ・定 員 20名 ※大阪市教育センター研修受講者50名も一緒に参加。
- ・参加費 無料
- ・申込方法 件名「教員のための博物館の日 8/7(月)大阪歴史博物館 参加希望」と、学校名等所属・名前を書いてEメール(keieikikaku@ocm.osaka)で申込み。7月26日(水)締切。先着順で受付。参加の可否は順次メールの返信によりお知らせ。
- ・問合せ・取材申込先 地方独立行政法人大阪市博物館機構 事務局 経営企画課 白川
TEL 06-6940-0569 (平日の9:30~17:00)、Eメール keieikikaku@ocm.osaka
- ・内 容 12:30 受付開始
13:00 挨拶
13:05 説明 「和菓子プロジェクト」の概要
13:25 講演 「和菓子プロジェクト」を活用した調べ学習、体験学習事例紹介
14:10 休憩
14:20 説明 大阪歴史博物館における教育普及事業の概要
14:35 体験 「和銅開珎の拓本でしおりをつくろう」「綿繰り体験」「土器パズル・地層パズル体験」
15:20 説明 「なにこれ？」の考古学概要説明
15:35 研修の総括・事務連絡
15:50 常設展示見学
17:00 終了

(参考) 2022 年度の開催風景

① 大阪市立自然史博物館



貸出資料の紹介



学芸員による展示解説

② 大阪歴史博物館



学校連携の事例紹介